ダイス

プラ試作品、迅速に

上海でも生産開始

一般に工業製品は量産の前段階として試作品によって機能評価、量産性の評価など多角的な評価が行われる。このため評価の前提となる試作品には量産品に極めて近い品質、機能を備えていることが求められる。ダイスは高品質のプラスチック試作品を迅速・的確に供給することで幅広いニーズに対応している。

同社に対する高い評価のバックグラウンドにあるのが多品種少量ニーズに対応した独自の金型づくり。選び抜いたアルミ材を入子に用いることで加工スピードと必要精度を確保。高品質を維持しながら、納期は要求仕様に応じて「2週間から3週間で成形品を納入する」（須賀一夫社長）という短納期と一般量産金型の50%という低価格を実現している。複雑な3次元形状やセット取り、多数個取り、メッキ、シボ加工にも対応する。

量産品レベルの仕上げを実現しているので形状・組み付けのチェックが一度で行えるほか、量産までの評価項目を迅速に検討できる。また、コストダウン効果も見逃せない利点だ。これまで手がけてきたのは自動車ドアミラー、シートベルト部品、車載機器、携帯電話筐体、医療機器など守備範囲は広い。

この4月から中国・上海市で簡易型と成形品の生産を始めた。加工に必要なデータの作り込みなどを日本で行い、上海で金型加工と成形を行い、最終的にダイスが品質保証をするという流れでコストダウンの要請に応えている。「受注内容に応じた切り分けで幅広いニーズに対応したい」と須賀社長は話す。将来は現地の需要を取り込むことも視野に入れている。

◇

本社・大阪市福島区海老江3―24―16、Tel06―6458―2796、Fax06―6458―4004

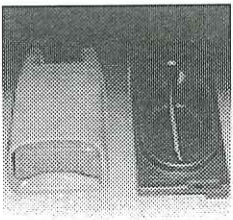
社長・須賀一夫氏

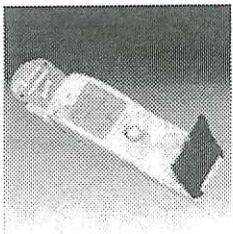
創業・1977年12月

従業員数・16名

事業内容・簡易型、試作型、小ロット成形品。

http://www.daisu.co.jp





試作品の例